



優良住宅部品性能試験方法書

Methods of Testing Performance of
Quality Housing Components

スプリンクラー設備

Sprinkler Systems for Housing

BLT SS:2015

2016年 1月 15日公表・施行

一般財団法人

ニゴ-リビ-ンガ

I 性能試験項目

優良住宅部品評価基準において、試験により性能等を確認する項目及び試験方法等は下表によるものとする。

性能試験項目名	性能試験方法	備考	頁
1. 警報音試験	BLT SS-01(別表1)		1

II 試験体

試験体の種別、形状、個数については性能試験方法で示すとおりとする。ただし、個数の下限は当財団の判断によるものとする。

また、試験体は認定申請時に提出された設計図書の図面、仕様書の内容と同一のものであるとし、差異のある場合は、追加試験の要請もあり得る。

III 試験結果の提示

定量的に表示しうるものは図表化を図ること。また、外観観察については具体的に、何が、いつ、どのような状態になったかを試験目的にそって簡潔に記述すること。なお、試験体、試験装置は詳細図を添付し、また、試験結果を示すのに有効な場合は写真を添付すること。

優良住宅部品性能試験方法書（スプリンクラー設備）

別表

1

(1) 性能試験名称	警報音試験	試験番号	BLT SS-01
(2) 試験対象	警報部	試験体の個数	3個
(3) 試験の目的	警報部の音響パワーレベルの測定		
(4) 試験方法	(4-1) 装置等	<p>1. 試験室：JIS Z 8732:2000(音響-音圧法による騒音減の音響パワーレベルの測定方法-無響室及び半無響室における精密測定方法)、JIS Z 8734:2000(音響-音圧法による騒音減の音響パワーレベルの測定方法-残響室における精密測定方法)に基づく試験室とする。</p> <p>2. 必要な装置等：JIS Z 8732:2000(音響-音圧法による騒音減の音響パワーレベルの測定方法-無響室及び半無響室における精密測定方法)、JIS Z 8734:2000(音響-音圧法による騒音減の音響パワーレベルの測定方法-残響室における精密測定方法)に基づく必要な試験装置とする。</p>	
	(4-2) 方法	<p>1. 警報部は背面板（300mm×300mm×20mmの木板）に取り付けて空中に保持した状態とする。測定にはJIS C1509-1（電気音響—サウンドレベルメータ（騒音計）—第1部：仕様）に規定するサウンドレベルメータを使用し、機器より1mの距離における警報音圧を測定する。測定はAレンジとし、かつ、測定感度の時定数を最小のレンジとし、最大の音圧値を測定する。また、1分間以上継続して測定する。</p>	
(5) 結果の表示	<p>以下のデータを報告する。</p> <p>Aレンジにおける最大音圧値</p>		